

耳鼻咽喉科領域の社会保険点数早見表・診療所 平成26年3月25日（日本耳鼻咽喉科医会）



初 診 料				
	時間内	時間外	休 日	深 夜
6歳以上	282点	367点	532点	762点
6歳未満	357点	482点	647点	977点
夜間・早朝等加算 +50点：初診・再診の診療時間内で、平日（18～22時 6時～8時）、土曜（12時～22時 6時～8時）〔標榜診療時間が週30時間以上の診療所、診療時間を掲示〕要届出				

投 薬 料				
使 用 薬 剤	調剤	院 内 処 方		薬 剤
内服薬及び浸煎薬	9	処方料（6剤以下）	42	1剤1日
頓 服 薬		3歳未満加算	+3	分
外 用 薬	6	薬剤情報提供料	10	1回分
		手帳記載加算	+3	1調剤
処方せん料（処方料包括）交付			6種類以下	68
処方せん交付1回	注3.	3歳未満加算	+3	7種類以上
付き	注7. 一般名処方加算		+2	

耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料 150点
月1回算定。15歳未満の反復・遷延する滲出性中耳炎に限る。但し、初診の日から1月以内は、初診料に含まれる。
薬剤料：処置・手術・麻酔・検査で薬価が15円以下は算定できない。

再 診 料				
	時間内	時間外	休 日	深 夜
6歳以上	72点	137点	262点	492点
6歳未満	110点	207点	332点	662点
外来管理加算 +52点：患者本人でも簡単な症状の確認等を行ったのみでの継続処方等は算定不可				
時間外対応加算1（24時間対応）+5点 患者からの電話等の問い合わせに、標榜診療時間以外の時間外対応加算2（準夜帯に対応）+3点 指定時間帯に対応可能な診療所（要届出）				
明細書発行体制等加算+1点：レセプト電子請求の実施、明細書の無料発行及びその旨の院内掲示の診療所（要届出）				

注 射 料			
皮内・皮下筋肉内（1回）	18	鼓室内薬液注入も同じ	
静脈内（1回）	30	6歳未満加算	+42
点滴注射（1日：外来）	6歳以上	47	1日の注射量500cc未満
	6歳未満	89	1日の注射量100cc未満
検査の採血料（1日につき）		6歳未満加算	+14
静脈・・・6歳以上	20	6歳未満	34
耳朶・尖指・・・6歳以上	6	6歳未満	20

自覚的聴力検査	平衡機能検査	補聴器適合検査 1回目 1,300 2回目以 700	※内視鏡検査（月内2回目 90/100）	*内視鏡下生検法（1臓器） 310	皮内反応検査1日につき
1. 標準純音聴力検査 350	1. 標準検査（一連） 20		・緊急内視鏡を外来患者に実施した場合	組織試験採取、切採法	21ヶ所以内（1ヶ所につき） 16
自記オーディオメーター 350	2. 刺激又は負荷を加える		時間外 +40% 休日又は深夜 +80%	1. 皮膚・筋肉 500	1種につき
2. 標準語音聴力検査（ことば） 350	特殊検査（1種目） 120		中耳ファイバースコープ 240	4. 耳 400	皮内反応検査（+薬剤標準使用量0.2mL）
3. 簡易聴力検査（一連） 40	3. 頭位及び頭位変換眼振検査		鼻咽腔直達鏡検査 220	5. 鼻・副鼻腔 400	減感作療法（+薬剤標準使用量0.2mL）
気導純音聴力検査 110	イ. 赤外線CCDカメラ等による場合 300		嗅裂部・鼻咽腔・副鼻腔入口部	6. 口腔 400	アレルギースクラッチ検査
5. 内耳機能検査、耳鳴検査（一連） 400	ロ. その他の場合 140		ファイバースコープ（一連） 600	7. 咽頭・喉 650	（+薬剤標準使用量0.05mL）
6. 中耳機能検査（一連） 150	イカロの器具を用いて浮遊耳石置換法を実施しても、当該検査料に含まれる。		喉頭ファイバースコープ 600	8. 甲状腺 650	鼻粘膜誘発試験（+鼻粘膜誘発薬剤料）
他覚的または行動観察による聴力検査			内視鏡下嚥下機能検査 600	リンパ節等穿刺・針生検 200	非特異的IgE半定量・定量（各1項目） 100
1. 鼓膜音響インピーダンス検査 290	4. 電気眼振図（一連） 260		食道鏡検査 400	病理診断料1. 組織診断料 400	特異的IgE半定量・定量（各1項目） 110
2. チンパノメトリー 340	4誘導以上 400		ファイバースコープ 800	病理診断料2. 細胞診断料 200	好酸球（鼻汁・喀痰） 15
3. 耳小骨筋反射検査 450	5. 重心動揺計 250		気管支鏡検査 500	細菌顕微鏡検査 3. その他 50	血液学的検査判断料 125
4. 遊戯聴力検査 450	音声言語医学的検査		ファイバースコープ 2,500	細菌培養同定検査	尿中一般物質定性半定量検査 26
5. 耳音響放射検査（OAE）	1. 喉頭ストロボスコープ 450		*他医療機関内視鏡写真診断料 70	・耳漏（その他） 140	尿沈渣（鏡検法） 25
イ. 自発耳音響放射（SOAE） 100	2. 音響分析 450		上顎洞穿刺（片側） 60	・口腔、気道、消化器、扁桃 160	赤血球沈降速度（ESR） 9
ロ. その他の場合 300	3. 音声機能検査 450		心電図（12誘導） 130	細菌薬剤感受性検査	末梢血液一般検査 21
鼓膜音響反射率検査 100	扁桃マッサージ法 40		超音波検査1. Aモード 150	1. 1菌種 170 2. 2菌種 220	〔Hb, Ht, 血球数, 血小板数〕
耳管機能測定 450	嗅覚検査1. 基準嗅覚検査 450		抗ストレプトリジンO(ASO)定性・半定量・定量（各1項目） 15	3. 3菌種以上 280	好酸球数 17
3. 聴性誘発反応検査 670	2. 静脈性嗅覚検査 45		抗ストレプトキナーゼ(ASK)定性・半定量（各1項目） 29	出血時間 15	末梢血液像（自動機械法） 15
4. 聴性定常反応 800	電気味覚検査（濾紙ディスク法） 300		A群β溶連菌迅速試験定性 136	クラミジア・トラコマチス核酸検出 204	末梢血液像（鏡検法） 25
蝸電図 750	鼻腔通気度検査（手術前後3カ月・他） 300		インフルエンザ菌（無莢膜型）抗原定性 耳漏・鼻汁 150	ウイルス抗体価 79	・外来検査迅速検体検査加算 1項目 +10
☆ 対称器官に係わる保険点数は、特に規定する場合を除き、処置料及び検査料は両側でも片側でも同じ点数で、手術料は片側だけの点数を示す。			肺炎球菌細胞壁抗原（定性）耳漏・鼻汁 204	インフルエンザウイルス抗原定性 149	当日検査結果を文書で情報提供 5項目まで

耳科診療を主として	鼻科診療を主として	咽喉科診療を主として	備 考
耳処置（耳浴及び耳洗浄を含む）	鼻処置（口、咽処置併施含）1 2	うがい薬 単独処方 適応病名必要	※1 7 5円ルール
耳垢栓塞除去（複雑）片1 0 0 両1 5 0	（含鼻吸引、単純鼻出血、及び鼻前庭処置）	口腔・咽頭処置（単独又は鼻処置と併施しても）1 2	レセコン使用：すべての薬剤名記載
耳垢栓塞除去（複雑）〔6歳未満〕片1 5 0 両2 0 0	副鼻腔自然口開大処置2 5	扁桃処置4 0	手書きの場合：1 7 5円以下省略可能
鼓室穿孔（片側）5 0	副鼻腔手術後の処置（片側）4 5	扁桃周囲膿瘍試験穿刺1 8 0	麻 酔
鼓室処置（片側）5 5	副鼻腔洗浄又は吸引（含注入）（片側）	扁桃周囲膿瘍穿刺1 8 0	☆ 麻酔の年齢加算
耳管処置（含通気、鼓マ、鼻内処置）	1. 治療用カテーテル使用の場合5 5	扁桃周囲膿瘍切開術1, 8 3 0	・未熟児（体重2.5Kg）・新生児（28日未満）加算 + 2 0 0 %
1. カテーテル耳管通気法（片側）3 0	2. 1 以外の場合2 5	間接喉頭鏡下喉頭処置2 7	・乳児（1歳未満）・幼児（1～3歳未満）加算 + 5 0 %, + 2 0 %
2. ポリツエル耳管通気法2 0	上顎洞穿孔（片側）6 0	ネブライザー（喉頭及び喉頭下）1 2	
耳管ブジー法（含通気、鼓マ）（片側）	ネブライザー1 2	超音波ネブライザー（1日につき）2 4	
皮膚科軟膏処置 1 0 0 c㎡未満（削除）	超音波ネブライザー（1日につき）2 4	唾液腺管洗浄（片側）6 0	表面・浸潤・簡単な伝導麻酔は、薬剤料のみ
1 0 0 c㎡～5 0 0 c㎡未満5 5	鼻出血止血法（ガーゼタンポン、バルーン）2 4 0	唾液腺管ブジー法（片側）4 5	静脈麻酔 1. 短時間1 2 0
皮膚科光線療法（赤外線・紫外線）1日につき4 5	鼻咽腔止血法（ペロック）4 4 0	咽頭異物摘出術 1. 簡単なもの4 2 0	2. 十分な体制・長時間6 0 0
穿刺排膿後薬液注入4 5	鼻内異物摘出術6 9 0	2. 複雑なもの2, 1 0 0	筋肉注射による全身麻酔、注腸による麻酔1 2 0
血腫、膿腫穿孔8 0	鼻腔粘膜焼灼術9 0 0	喉頭異物摘出術 1. 直達鏡によらないもの2, 9 2 0	神経ブロック（局麻剤使用）
耳介血腫閉窓術3 8 0	下甲介粘膜焼灼術9 0 0	2. 直達鏡によるもの5, 2 5 0	2. 蝶形口蓋神経節ブロック8 0 0
外耳道異物除去術 1. 単純2 2 0 2. 複雑7 1 0	下甲介粘膜レーザー焼灼術（両側）2, 9 1 0	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術3, 2 0 0	4. 顔面痙攣にボツリヌス毒素を用いた場合4 0 0
鼓膜切開術〔イオントフォレーゼ加算+ 4 5〕6 9 0	鼻甲介切除術 1. 高周波電気凝固によるもの9 0 0	気管異物除去術 1. 直達鏡5, 3 2 0	5. 星状神経節・顔面神経ブロック3 4 0
耳管狭窄ビニール管挿入術1, 4 2 0	2. その他のもの1, 8 2 0	喉頭腫瘍摘出術 1. 間接喉頭鏡によるもの3, 4 2 0	検体検査判断料
鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術2, 6 7 0	粘膜下下甲介骨切除術2, 9 6 0	2. 直達鏡によるもの4, 3 1 0	1. 尿・糞便等検査判断料3 4 点
〔イオントフォレーゼ加算+ 4 5〕	鼻茸摘出術1, 0 9 0	喉頭・声帯ポリープ切除術	2. 血液学的検査判断料1 2 5 点
経鼓膜換気チューブ（1）短期留置型4, 290円	出血性鼻茸摘出術6, 8 6 0	1. 間接喉頭鏡によるもの2, 9 9 0	3. 生化学的検査（Ⅰ）判断料1 4 4 点
032 （2）長期留置型2, 330円	鼻骨骨折徒手整復術（脱臼整復術）1, 6 4 0	2. 直達喉頭鏡・ファイバースコープ4, 3 0 0	4. 生化学的検査（Ⅱ）判断料1 4 4 点
鼓膜穿孔閉鎖術（一連）1, 5 8 0	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅰ型（副鼻腔自然口開窓術）3, 600	喉頭膿瘍切開術2, 1 4 0	5. 免疫学的検査判断料1 4 4 点
耳茸摘出術8 3 0	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型（副鼻腔単洞手術）10, 000	喉頭浮腫乱切術2, 0 4 0	6. 微生物学的検査判断料1 5 0 点
皮膚切開術1. 長径1 0 c㎡未満4 7 0	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型（選択的複数洞副鼻腔手術）	唾石摘出術 1. 表在性のもの6 4 0	7. 病理学的検査判断料（N007）1 5 0 点
創傷処理4. 長径5 c㎡未満4 7 0	24, 500	2. 深在性のもの3, 7 7 0	脳血管疾患等リハビリテーション科Ⅲ
5. 長径2. 5 c㎡未満（6歳未満）4 5 0	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型（汎副鼻腔手術）31, 990	がま腫切開術8 2 0	口廃用症候群の場合 70、イ廃用症候群以外の場合100
創傷処置 1. 1 0 0 c㎡未満4 5	副鼻腔炎術後後出血止血法（加算あり）6, 6 6 0	頬・口唇・舌小帯形成術5 6 0	◎言語聴覚療法（要届出）
2. 1 0 0 c㎡～5 0 0 c㎡未満5 5	喀痰吸引（1日につき）〔6歳未満 + 7 5〕4 8	アデノイド切除術1, 6 0 0	単純撮影（頭部・胸・腹・脊椎）
救急処置	酸素吸入（1日につき）6 5 + P / 1 0 円6 5	口蓋扁桃手術 1. 切除1, 4 3 0 2. 摘出3, 6 0 0	単純撮影イ頭部、造影剤使用
1. 救命のための気管内挿管5 0 0	カウンターショック（1日につき）	扁桃除去後止血処置（翌日以降）1, 9 0 0	写真診断8 5 7 2
2. 人工呼吸（3 0分まで）2 4 2	非医療従事者向け自動徐細動器を用いた場合2, 5 0 0	軟口蓋形成術（いびき）9, 7 0 0	写真撮影・7 x 7 6 6 0 1 4 4
3. 非開胸的心マッサージ（3 0分まで）2 5 0	その他の場合3, 5 0 0	診療情報提供料Ⅰ2 5 0	写真撮影・デジタル6 8 1 5 4
備 考	終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定1 0 0	●他の医療機関または保険福祉関係機関	電子化加算5 7 6 6
緊急時加算：手術、麻酔又は150点以上の処置	終夜睡眠ポリグラフィー	◎患者退院時加算+ 2 0 0	写真撮影 新生児、乳幼児（3歳未満）の加算
時間外 + 4 0 % 休日又は深夜 + 8 0 %	1. 携帯用装置を使用した場合7 2 0	診療情報提供料Ⅱ5 0 0	+ 3 0 %, + 1 5 %
☆手術：乳幼児（3歳未満）加算、幼児（3～6歳未満）加算	2. 多点感圧センサーがある睡眠評価装置を使用2 5 0	●セカンドオピニオン	フィルム六ツ切5 点、八ツ切5 点
+ 1 0 0 %, + 5 0 %	3. 1 及び2 以外の場合3, 3 0 0	疾病手当金意見書交付料1 0 0	6歳未満・乳幼児（×1.1）六ツ切6 点、八ツ切5 点
写真診断（他医療機関撮影）1. 単純撮影イ頭部E00 8 5	脳波検査判断料（月1回）1 8 0	療養費同意書交付料1 0 0	嚥下造影2 4 0
3. 造影剤使用撮影7 2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2 5 0	高度難聴指導管理料〔1回限り〕4 2 0	外来：時間外・休日・深夜、診断・撮影料に
コンピューター断層診断（他医療機関撮影）初診時4 5 0	経鼻的持続陽圧呼吸療法用治療器加算+ 1. 2 1 0	口、イの人工内耳埋込術以外 要届出	時間外緊急院内画像診断加算+ 1 1 0